各社が誇る、現場で活躍する社員

普遍的に求められる技術

大成機工
東京支店　工事本部工事部　主任
古賀　明日翔さん

■目立たないが、すごい

学生時代は経済学部で、インフラや経済を支える企業についても学ぶ機会があったため、就職活動を行うとき、なんとなく興味がある、知名度が高いという理由で職種を決めてしまうことに違和感を持っていました。

「大成機工」を知ったのは中小企業対象の就職合同説明会です。大成機工のブースで感じたインフラを陰で支える「目立たないが、すごい」会社だという印象が私の探していた会社像に当てはまりました。さらに高い技術力を有し、業界に普遍的に存在する姿に好感を持ってたことも入社の決め手になったと思います。

■文系でも施工管理に

入社後、1年の研修を経て営業部に配属になりました。土木工事は自然現象に左右されやすく、現場を取り巻く環境はめまぐるしく変化します。完璧に打ち合わせを行ったつもりでも、予期せぬところから問題が発生し、打ち合わせ通りに終わる現場はほとんどありませんでした。

特に、印象に残っているのは富津市の漏水対応です。仕事納めの日に私が一報を受け、そこから漏水箇所の特定、修繕など骨の折れる現場でした。しかし、断水で困っている住民のために早急に復旧しなければと技術部や工事部、業者の方々に力を借りながら臨機応変に対応し、無事に工事を終えた時は非常に嬉しかったです。

こうした経験を経て、昨年4月から工事部に所属しています。文系出身で現場経験のない私にとって施工管理という分野に異動希望を出すことは大きなチャレンジでした。

やりたいことを見つけることができなかった就活時代から、自分のためになることへひるまず挑戦していきたいと思うようになったのは、4年間の営業活動を通して知った当社の確かな技術力と実績があったからです。現場調査、測量、CAD等、1ミリの狂いも許さない世界で、スキルアップに努め、早くプロとしての仕事をできるようになりたいですし、施工現場においても文系出身者が活躍できると知ってほしいです。

■入社後何ができるか

現在国内で行われている水道管の耐震化、布設替工事には必ずと言っていいほど、当社の製品がかかわっています。今後、水道管の維持管理が形を変えていこうとも、必ず大成機工の技術力や対応力は現場に必要不可欠であると自負しています。

就職活動の際、やりたいことから会社を見つけることも一つだと思いますが、私は入社してみなければわからないと思っています。大切なのは入社してから何をすべきかではないでしょうか。私自身も新たなチャレンジを尊重してくれた会社に貢献するべく尽力していきます。

歴史が育む技術の魅力

月島機械
水環境事業本部　プラント技術部
熱エンジグループ　主任
浦部　雅総さん

■多様な経験から

自己分析と業界研究を重ねて、環境プラントのエンジニアリング企業に絞って就職活動し、月島機械に入社しました。

学生時代は環境リスクマネジメントを専攻し、下水処理に関する研究をしていたこともあり、水に関連した部門での仕事を希望していましたが、入社後の配属は民需の製糖設備の基本設計を行う部署でした。

先輩方に相談しながらプロジェクトを進める中、チームで協力しながら事業をまとめるプラント建設（EPC）の楽しさを感じました。当時、先輩から「上司と部下ではあっても技術者は対等」と言われたことが印象的です。自らの専門技術では積極的に意見しながら、多くのことを学びました。

その後、当時業務提携していた空調の大手エンジニアリング企業の海外部門に出向。帰任後、二次電池（リチウムイオンバッテリー）の主要構成材料である正極材を製造する設備のEPCを経験しました。

成長産業として注目される二次電池分野ですが、会社としては挑戦分野であり、要求される品質をクリアするためにさまざまな苦労もありましたが、試運転まで漕ぎつけた時の喜びは一入でした。

■蓄積技術が強み

昨年4月に水環境事業本部に異動し、下水汚泥の焼却技術の基本設計部門に配属となりました。

創業技術である製糖設備、そして当社の汚泥処理や焼却技術は、長い歴史の中で蓄積した豊富な実績を有しており、これは当社の大きな強みです。

脱炭素の動きが加速し、自治体の施設の老朽化対策と合わせた汚泥焼却技術の高度化、効率化へのニーズが高まっています。納入実績と蓄積した研究成果の中から、これからの時代の多様な汚泥プロセスのニーズに適応した焼却炉の設計に取り組んでいます。

■EPCの面白さ

学生時代には未知の領域だったさまざまな分野に飛び込み、常に新鮮さを得ながら、EPCをまとめ上げる面白さを実感してきました。

機械、プラントエンジニアリングに興味がある学生は、ぜひ当社に飛び込んで来てほしいと思います。

当社の仕事には、学生の視点ではなかなかイメージできない実績と歴史が育んだ技術の面白さが詰まっています。

水を仕事にする魅力、やりがい

グループで支える安定供給

東京水道
水道技術本部　管路整備部
小管設計第一課　課長代理
杉本　高志さん

■インフラを支えたい

学生時代には香川県内の高等専門学校と新潟県内の大学で9年間土木を勉強しました。就職活動時には「インフラを支えたい」、そして「首都圏で働きたい」という思いがあり、両方に合致する企業として前身の東京水道サービスに入社しました。今年13年目になります。

東京水道は、東京都水道局と構成する東京水道グループの一員として、水道業務全般に携わり、日々安全でおいしい水の安定供給に努めています。

約2万7000キロメートルに及ぶ長大な管路を継続的かつ計画的に更新していくことが重要です。これらの更新に当たり、地震で抜けにくい水道管の耐震継手化を最優先で行う必要があり、当社はその一翼を担っています。

■目標実現に向けて

入社して3年間は事業所での配水本管（口径400ミリ以上）の工事監督、その後は本社で社全体業務を掌握しながらの調整業務等を経験し、6年前からは配水小管（口径350ミリ以下）の設計担当部署に配属となるなど、管路整備業務で長くキャリアを積みました。今の部署に来てからは、課長代理として、担当ラインの受け持つ個々の案件を掌握するとともに、設計進捗管理を行いながら部下に適宜アドバイスするなど、マネジメント職としての役割に日々励んでいます。

現在の管路設計は、複雑な埋設環境下に点在して残されているケースが多く、多面的な検討や協議が多岐にわたるなど、難しい案件が増えており、対応に苦労しています。そうした現場条件を速やかに把握し、かつ最適施工方法の選定やコスト縮減を図りながら発注へとつなげるのが小管設計担当者の腕の見せ所です。「今年度中の重要施設へのルートの耐震継手化達成」という大きな目標の中で、熱心に取り組む若手を指導しながら、その実現に向けて一同励んでいます。

■社会的責任の大きさ

一方で共働きのため、限られた時間内で業務を終わらせられるようにも努めており、家事・育児に奮闘中です。これまでを振り返っても、社員寮への入寮や育児休暇の取得など、福利厚生が行き届いた働きやすい企業だと思います。またコロナ禍でも安定した仕事を通じて「水の安定供給」という社会的責任の大きさを実感しました。それを支える仕事のやりがいは、何ものにも代えがたいです。

株式会社 極東技工コンサルタント　https://www.kgc21.co.jp

大阪本社　大阪府吹田市南金田2-3-26 ファー・イースト21　／　東京本社　東京都台東区上野1-10-12 商工中金・第一生命上野ビル

水&環境の総合コンサルタント
Integrated consultant of water and environment

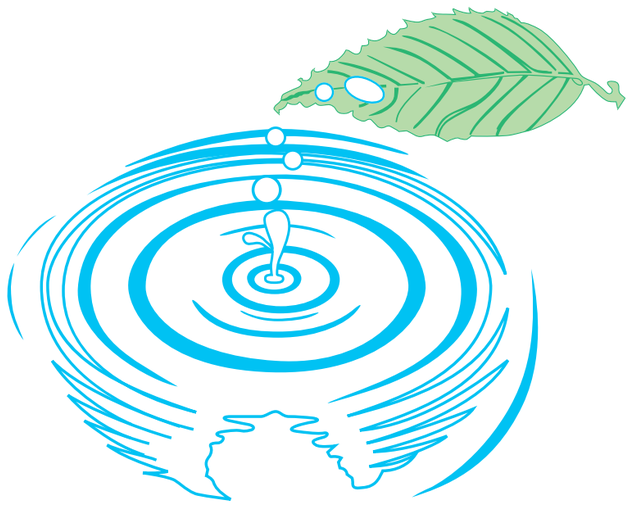
2022 健康経営優良法人 Health and productivity

社員は、会社の「財（たから）」です。
建設コンサルタント業界においては、他社に先駆け、年間を通じた週1回以上の定時退社および6月～10月には全社ノー残業マンスを実施し、残業時間の低減を実現するとともに、社員のワークライフバランスを大切にしています。

心身ともに健康で充実した社員が一丸となって、昭和49年（1974年）の創業以来、蓄積してきた技術力をさらに向上させ、地域に密着したサービスで水を育み、環境を守り、暮らしを豊かにする真のコンサルタントを目指しています。

大阪本社社屋

生命の水を守ります。



（公社）全国上下水道コンサルタント協会 会員
（一社）管路診断コンサルタント協会 会員
●調査●事業計画●実施設計●施工監理●診断●コンピューター解析

株式会社 三水コンサルタント　代表取締役社長　山 﨑 義 広

本社/大阪支社　〒530-0005 大阪市北区中之島6丁目2番40号　TEL.(06)6447-8181(代)　FAX.(06)6447-8196
東京本社/東京支社　〒112-0002 東京都文京区小石川5丁目5番5号　TEL.(03)5976-9060(代)　FAX.(03)5976-9077
中部支社　〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目11番19号　TEL.(052)684-9300(代)　FAX.(052)684-9301
西部支社　〒810-0801 福岡市博多区中洲5丁目6番28号　TEL.(092)282-7050(代)　FAX.(092)282-7055
東北支社　〒981-0912 仙台市青葉区堤町1丁目1番2号　TEL.(022)728-7205(代)　FAX.(022)728-7207